

【公開日】 2026年6月11日

作成日 2026年4月6日
(最終更新日 2026年5月21日)

「情報公開文書」

受付番号： 2026-4-030

課題名： ウェルビーイングに関する国際ゲノムワイド関連メタ解析

研究責任者： 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構・教授・木下 賢吾

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画 地域住民コホート調査または三世代コホート調査に参加された方

2. 研究目的・方法

【研究期間及び試料・情報の利用又は提供を開始する日】

研究期間： 2026年5月（研究実施許可日） ～2027年3月

試料・情報の利用又は提供を開始する日： 研究実施許可日

【研究目的】

ウェルビーイング（well-being）は、人生において、自身の生活や活動が、自身の希望、必要性、および期待に合っていると感じられる状態、ならびにそこから生じる満足感や前向きな感情と定義されています。Well-being は、より健康的な生活、より活発な社会参加、さらにはより高い職業的成功など、望ましい人生の転帰や機能と関連することが多くの研究で示されており、近年ますます重要視されています。

これまで、オランダ アムステルダム自由大学 生物心理学部門 量的遺伝学分野を中心に、well-being に関連する生活満足度やポジティブ感情に影響をおよぼす遺伝要因の探索が行われてきました。しかし、その全体像の解明には、より大規模かつ多様な祖先集団を対象とした解析が必要です。そこで、アムステルダム自由大学の同グループを中心として、国際コンソーシアムが立ち上げられました。本研究では、この国際コンソーシアムの枠組みの下、well-being をとらえる主な指標であるポジティブ感情、生活の質（QOL）、生活満足度の3つに対して、各コンソーシアム参画機関で実施されたゲノムワイド関連解析（GWAS）の結果を集約し、大規模メタ解析を行うことにより、well-being に関連する遺伝要因を明らかにすることを目的としています。

Well-being に関わる要因の理解を深めることにより、将来的に、遺伝要因や環境要因をふまえた well-being の実現につながることを期待されます。

【研究方法】

東北メディカル・メガバンク機構(ToMMo)においては、東北メディカル・メガバンク計画参加者のジャポニカアレイ解析によるゲノム情報、また、調査票のポジティブ感情に関連する項目のデータを用いて、GWAS を実施します。この解析は、ToMMo のスーパーコンピュータ内で実施されます。解析結果のうち、個人情報を含まない、統計情報（要約統計量）を、アムステルダム自由大学に提出し、また、東北メディカル・メガバンク計画の公開データベース jMorp において公開します。

アムステルダム自由大学では、複数の研究機関より提出された統計情報を統合して解析することで、well-being に関連する遺伝要因を同定します。

解析結果は、論文、学会発表等で公表いたしますが、研究参加者のみなさんにお返しすることはありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：該当ありません

情報：基本情報（性別・年齢）、調査票情報、ゲノム情報（SNP アレイ情報）

4. 外部への試料・情報の提供

東北大学東北メディカル・メガバンク機構から外部への試料の提供はありません。また、個人ごとのゲノム情報や調査票情報が外部に提供されることもありません。東北大学東北メディカル・メガバンク機構で計算を行い、得られた統計量のみが国際研究団体と共有されます。

【試料・情報の提供を行う機関】

機関名称：東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

機関長名：張替 秀郎 機構長

【提供を行う試料・情報】

試料：該当ありません

情報：ポジティブ感情に対する GWAS 要約統計量

5. 関係研究組織

機関名：アムステルダム自由大学

代表者名：Meike Bartels

(Multi-ancestry well-being GWAS 国際コンソーシアム代表機関)

6. 利益相反（企業等との利害関係）について

該当なし

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 アレイデータ室

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-273-6411

東北大学の東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 試料・情報分譲担当

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-272-6955

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「7. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1>

<個人情報の保護に関する法律第21条の4>

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口

に提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1>

<個人情報の保護に関する法律第33条の2>

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合